

賛助会員へのご入会・継続をお願いします

アール・ド・ヴィーヴルは、障がいのある人たちに「自分らしく生きる」機会を提供し、社会参加を応援し、彼らの社会的自立と障害理解のため、啓発活動を行っています。

この活動は、個人・団体・企業のご寄付と、会員の年会費、団体・企業による助成金で運営されています。

おひとりでも多くの方に活動の趣旨にご賛同いただき、ともに社会を作る仲間として、継続的にアール・ド・ヴィーヴルを応援していただけますよう心よりお願い申し上げます。

賛助会員のみさまには毎年カレンダーを進呈しております。展覧会のご案内、ニュースレターなども折々にお届けいたします。

賛助会員申込書ダウンロードリンク：<http://artdevivre-odawara.jp/supporter/>
 賛助会員（年会費）個人 一口 5,000 円：団体・法人 一口 10,000 円（ともに一口以上）

よろしくおねがいします！



寄付をお原頁いたします

認定 NPO 法人アール・ド・ヴィーヴルの活動にご賛同いただける方、ご支援いただける方へ
 寄付のご案内をさせていただいております。

企業の社会貢献として、また個人様よりのご寄付をご検討いただければ幸いです。

お問い合わせ

アール・ド・ヴィーヴル萩原まで
 TEL : 0465-25-4534 FAX : 0465-25-1935 MAIL : info@artdevivre-odawara.jp

＼ 当法人へのご寄附は、税額控除が受けられます /

アール・ド・ヴィーヴルは2020年、認定NPO法人格を取得しました。
 当法人へのご寄附は、税額控除が受けられます。所得税・住民税控除対象となります。

認定 NPO 法人とは、NPO 法人の中でも事業活動や運営面、経理面など、国や県、市町が定める、より厳しい基準を満たした法人の証です。

ご支援、ご協力、ありがとうございました。

- 賛助会員(個人)46名
- 法人会員(43社) 杉崎茂法律事務所 / 中川食肉(株) / 相洋産業(株) / (株)湘南クロス / フロンティア1(株) / (株)ティー・アイ・シー ミウラ / (株)セトプリント / (株)小田原百貨店 / サンネット(株) / (医)鷗友会白鷗医院 / (福)県西福祉会 / さがみ信用金庫 / 万葉倶楽部(株) / 鈴廣かまぼこ(株) / (株)エスアールシー / izumi ジュエリーシマノ / (医)山田クリニック / 岡宮産婦人科医院 / (医)けやき会安間医院 / 小田原瓦斯(株) / (有)みのさんファーム / 曾根歯科医院 / ヒューマンズ・ネット(株) / (株)東海ビルメンテナンス / (有)花のこウノ / 西湘ビルメンテナンス協同組合 / (株)ミタニ / (株)T-FORESTRY / ニュートヨオート(株) / (株)アークル / (株)ミクニ小田原事業所 / (同)Sasaki Family Company / (株)クニヨシ / (株)ういろう / (株)古川 / (株)濱田屋 / 正庵 / (株)MAA / (医)横田小児科医院 / (医)平原眼科クリニック / (株)海風屋 / (株)まるだい運輸倉庫 / ハートコンサルティング (敬称略)
- 助成：WAM(独立行政法人福祉医療機構) / 一般財団法人八三財団
- 寄付個人 24名
- 寄付法人(18社) (医)敬仁会 / (株)まるだい運輸倉庫 / 日立製作所労働組合 / さがみ信用金庫 / Hamee(株) / 永昌院 / (株)城山測量設計 / (株)関東設備 / (同)表現活動研究所ラスコー / (株)T-FORESTRY / ハーチ(株) / ハートコンサルティング / (株)大広社 / 小田原瓦斯(株) / (株)東海ビルメンテナンス / (株)リンクライン / やまなみ工房 / ミナカ小田原(敬称略)

認定NPO 法人 アール・ド・ヴィーヴル

- 理事 / 萩原美由紀 / 横田俊一郎 / 杉崎 茂 / 中津川浩章 / 養宮武夫 / 鈴木博品 / 平井巳和子 / 牛山恵子 / ケリー佳枝 / 柴田和生 / 高橋剛司
- 監事 / 小室全由 / 山崎明子
- 正会員(41名) 萩原美由紀 / 秋鹿浩史 / 江澤良江 / ケリー佳枝 / 杉崎茂 / 中津川浩章 / 中山貴子 / 平井巳和子 / 横田俊一郎 / 牛山 恵子 / 秋鹿明子 / 國兼由美子 / 渡邊礼子 / 川口圭子 / 蘆田浩子 / 塚本やよい / 山田浩子 / 門田美恵子 / 常盤きえ子 / 山崎明子 / 中清水弘子 / 八木美紀 / 佐藤和美 / 藤田典子 / 藤原明子 / 北村久美 / 飯塚智子 / 高橋久美子 / 齋藤智子 / 養宮武夫 / 柴田和生 / 町田義三 / 鈴木幸恵 / 石垣由加理 / 待寺幸 / 鈴木博品 / 赤石茶里 / 小室全由 / 高橋 剛司 / 近藤孫範 / 吉本麗智子

〒250-0055 神奈川県小田原市久野 403-17 ■ TEL : 0465-25-4534 ■ FAX : 0465-25-1935

■ Email : info@artdevivre-odawara.jp ■ Web : http://artdevivre-odawara.jp

art de vivre NEWS LETTER 8号 編集：発行：認定 NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル 2021年9月22日発行

表紙絵：合同制作 / ページ内の作品：アール・ド・ヴィーヴルのメンバー

Vol.8

art de vivre

NEWS LETTER





新事業所がオープンしました！



2020年秋から始まった新施設の建築工事、無事に2021年3月に完成して引越しし、「障害福祉サービス事業所(就労支援B型・生活介護)アール・ド・ヴィーヴル」が始動しました。

新しい事業所になったら、広いアトリエでイーゼルを立てて絵を描きたい、出来上がった作品を展示できるスペースがほしい、グッズ販売もしたい、カフェもやってみたい、ブルーベリーを収穫したらケーキを作りたい、デッキにでて外で創作も楽しめるといいな、などいろいろな希望がありました。そんなメンバーたちのやってみたいことを実現するべく、いろんなスペースを作りました。

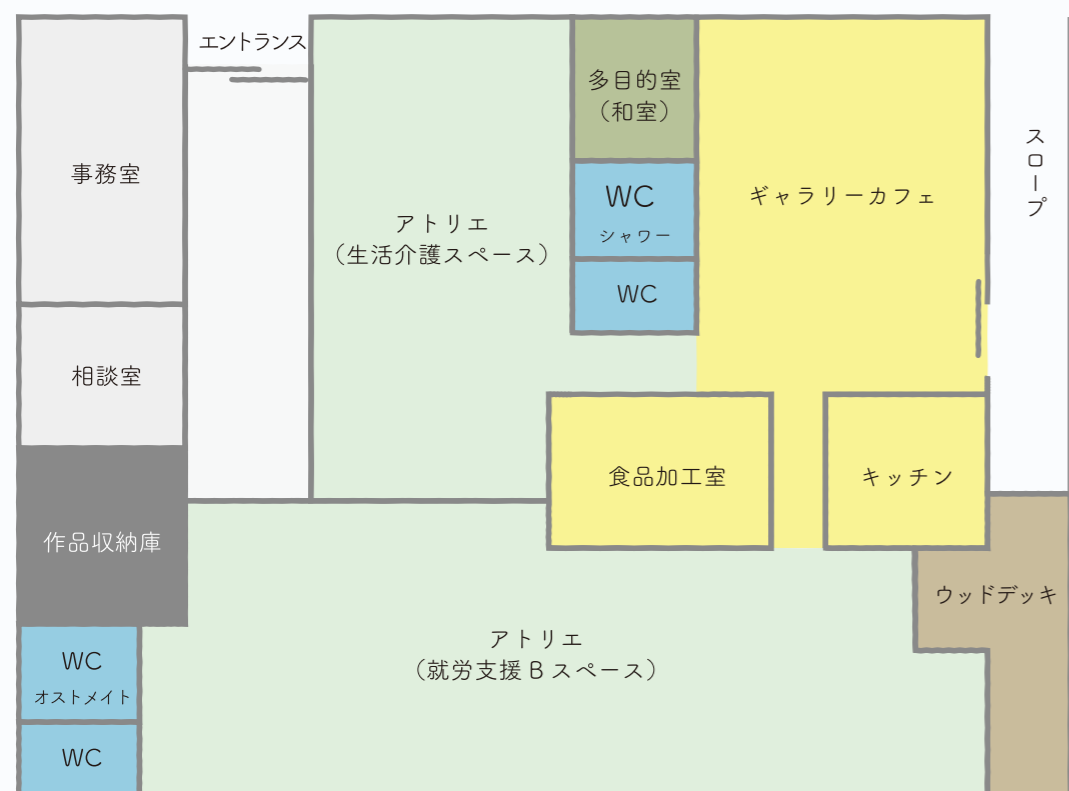
みんなが愛着を感じる場所に育って欲しいと願い、中津川アートディレクターと一緒に検討を重ねて建築に至りました。この建物には、メンバーたちと一緒に作ったスペースがあります。たとえば、外壁の窓枠はメンバーたちが塗り、アトリエ内の壁面にはメンバーたちが描いたタイルを埋め込みました。施設全体はバリアフリーです。入り口にはスロープがつき館内はフルフラット。みんなのトイレを4箇所に設置し、車椅子ユーザーの方も安心してご利用いただけるようになりました。



新施設建築構想を発表し、完成まで漕ぎ着けたことは、ひとえにアールの活動に賛同して下さった正会員・賛助会員の皆様と寄付者の皆様のおかげです。

そのご好意にお応えできるよう、地域の社会資源として、アールを必要としている皆様にご利用いただける場を創っていきたいと思います。地域に開かれた福祉施設の活動を末長く見守っていただければ幸いです。

認定 NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル 理事長/施設長
萩原美由紀



アトリエでの制作風景



広く新しいアトリエになり空間に余裕が生まれて、雰囲気がより明るくイキイキしてきてさらにリラックスして制作するようになったメンバー。生活介護施設を始めたことで新しいメンバーの多様性が他のメンバーたちの刺激になったのか、作品の幅が広がってユニークな表現が次々に生まれてきている。表現活動や福祉の理念は大切だけど、それが正しいからユニークな作品が制作されるのかというと、実はそうでもない。広いスペースで自由に画材を選び、のんびりしたり居眠りやおしゃべりしたりする中で何か感じている。みんなそれぞれのペースで制作し仕事をする。画一的ではないサポートと空間があれば、集中できてより自分らしい個性を発揮できることが大切。そう、アール・ド・ヴィーヴルは更にそんな場所になってきた、と実感している。

(美術家・アートディレクター 中津川浩章)



休み時間はそれぞれ好きなことをして楽しんでいます。

毎日のラジオ体操&ダンスタイムで肩こりも治っちゃう！

アールのメンバーはさまざまな仕事をしています

ブルーベリー農園の手入れ



農園の手入れも今年で5年目。今年はどっさりブルーベリーが実りました。みんなで何度も畑に出かけて、味見しながら収穫し、帰ってから仕分けてブルーベリースソースを作りました。オリジナルラベルもアールデザイン。ラベルデザインのお仕事も承ります。ブルーベリーの他、畑を耕し各種野菜もみんなで育て、給食などにおいしくいただいています！

アートルース



横浜銀行本店さま

3ヶ月に1回、毎回新しい原画をお楽しみいただく「アートルース」。
作品を額装し、お届けし、テキパキと進める、頼もしい主戦力はメンバーなのです。
リース交換日はメンバーと企業の皆さまが直接交流できる貴重な機会。メンバーが社会の中で仕事をし、企業の皆さまと対話が生まれることはとても誇らしくうれしいことです。
リース作品のセレクトや展示方法はアートディレクターの中津川浩章さんがお客様のスペースに合わせてコーディネートします。
ご利用をご検討いただければ幸いです。

リース料は、月々5,500円より

詳しくはアールのWebで！



(左より)東海ビルメンテナンスさま、大谷社会労務士事務所さま、おんりーゆーさま

つながるカード



4 天野理容館さま：アール近隣のお客さまには、メンバーがお届けに伺っています。



2021年7月ご注文800件を超えました

アールの作品をモチーフにしたオリジナル名刺作成サービス「つなぐカード」プロジェクト。コーポレートカードとして社員の全員でお使いいただいたり、海を渡りアメリカからのご注文もいただくことができました。
ロゴやQRコードの挿入、地図などを入れた二つ折り、など完全オリジナルデザインも承ります。
またギフトに添えるメッセージカードなどにもお使いください。
100枚3,850円～です。詳しくはアールのWebで！

念願のギャラリーカフェがオープンしました



ブルーベリー・クリームチーズ and バナナマフィン

営業時間
ギャラリー
 平日 11:00~16:00
カフェ
 火曜・木曜 13:00~15:00

天窓から自然光が注ぐ、明るくて居心地の良いギャラリーカフェができました！3面の白い壁は多様に使える展示スペース、これからさまざまな展示を行って行く予定です。メンバーがカフェスタッフとして働くカフェでは、料理研究家・なかつがわ真基子先生監修のスイーツとコーヒーがお楽しみいただけます。素材は全て国産にこだわり、無農薬のレモンやブルーベリーを使っています。
ギャラリーカフェは、ワークショップや展示などを行うレンタルスペースとしてご利用いただくこともできます。
アールの新チャレンジです！ぜひ応援に、そしてつろぎにいらしてください。カフェスタッフがお待ちしております。写真協力：株式会社タウンニュース社

with スマイル! 支援員メッセージ

「ケセラセラ」「いつも心に太陽を」「明けない夜はない」などの言葉が生まれた時代、そのたびに人は大切なものを犠牲にしながら、大変なことを乗り越えてきたのでしょうか。「アフターコロナ」「with コロナ」など新しい word が生まれた昨今ですが、アールはいつでも「with スマイル!」アールの仲間たちはこんな中でも笑顔にあふれていて、楽しそうに筆やペンを動かしたり、ルンルン歩いてみたり、給食おかわり!と元気です。

どんな時でもアールはここにあって、心に寄り添い耳を傾けいつでも待っています。そんなお日様に干したての布団のような安心感が、萩原所長はじめスタッフや利用者の皆さんから感じられて、私はアールにいる時はほぼ笑っている気がします。

時には、体調や気持ちが落ち込むこともあったり、持病や障害と向き合わなくてはならない時もあります。悩みを聞いたり、体調不良の対応をしたり、たまには社会性を身に付けてもらうため厳しく接することもあります。それよりも笑っている記憶が圧勝です。誰が教えたわけでもこの決まりでもないのに利用者さんが笑顔なので、スタッフもいつの間にかこんな感染なら嬉しい「with スマイル!」。大事な人たちとのコミュニケーションがとれない環境下、毎日笑顔をありがとうと感謝です。

これからもアールはその時その時の環境に適應しながら、制作活動や展覧会、畑作業リース交換やグッズ配達などなど、社会と繋がっている仕事を繰り返してまいります。あっちこっちにアールひょっこり犯が「笑顔」を振りまきまいますのでお見逃しなく！あなたの街に「with スマイル」byアール・ド・ヴィーヴル Coming Soon!!

(支援員 川口真砂子)

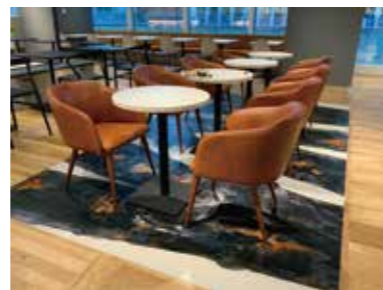
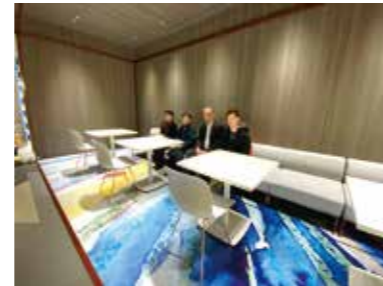
作品を媒介に社会とのつながりを広げ、障害がある人が誇りを持って生きられる社会に向けて
クライアントさま、行政のみならず、そしてコーディネーターさまのおかげで
いくつもの大きなチャレンジをさせていただきました。

オフィス内装デザインのアートグラフィックとして作品が採用されました

コクヨ株式会社様が設計を手掛け、三井物産株式会社様と三井不動産株式会社様が共同オーナーとなるテナントワーカー専用の複合サービスフロア“mot. Mitsui Office for Tomorrow”のプロジェクトに、アールのメンバーのケリー幸太さんと松下ゆき子さんの作品が、オフィス内装のアートグラフィックとして採用されました。

お施主様、コクヨ様のご厚意で、オープン前に内覧会を開いてくださり、アーティスト達とご家族をお連れして大手町へ。なんとフロア壁面、床材、家具に至るまでオフィスすべてがアート。彼らの作品が床材やタペストリーに変身、夢のような空間にうっとり。ご家族もこんな嬉しいことはないと言ってくれました。

この素晴らしいプロジェクトにお声をかけてくださったアンドアンドプラスの浅川様には感謝でいっぱいです。



ラッピング自販機 誕生!

持続可能な社会へ向けて、小田原 SDGs のパートナー企業の株式会社アークルさんとアールのコラボ企画が実現!アールのメンバー 蘆田珠希さんの作品がラッピングされた自販機がアールの建物沿いで稼働しました。売上の一部は株式会社アークルさんからアールの活動にご寄付いただけるとのことでした。



管理職研修で1日支援員体験!(サンネット株式会社さま)

2020年12月、サンネット株式会社の管理職の皆さんがアールの支援員体験にみえました。きっかけは工房まるの研修(P10参照)。「障害者と共に働く企業とは?」まずは現場を知ることということで、市川社長からご相談を受けました。すぐに研修は始まり、一日に一人ずつ部長職以上の方々がアールにやってきました。介護支援、絵具の片付けやおしゃべり、展示会の展示作業にも関わって下さいました。みなさん、気負わずすっかり溶け込んでいらした印象でしたが、ご本人のお気持ちはどんなだったのでしょうか?(理事長:萩原)



支援員体験ということで最初はどうか接したらよいだろう、どんな事を話せばよいだろうと緊張していました。しかし実際にアールの利用者の皆さんと触れ合ってみると、自分の絵のことや趣味のことなど楽しそうに私に話してくれました。その笑顔を見て一線を引いていたのは私の方なんだと気づきました。

リース先企業での作品入れ替えや展示会の準備なども一緒に作業をしました。支援と言いつつも逆に作品の飾り方を教えてもらったり頼もしかったです。今回の研修で私を含めた参加者全員が「頭で考えるよりどれだけ触れ合ったら肌で感じられるか」が大切だと気づきました。そして何より楽しい時間を過ごすことができた貴重な体験でした。ありがとうございました。

サンネット株式会社 システム開発部 部長 森勝俊さま



三の丸ホールの大ホール・ホワイエに作品が常設されました



2021年9月にオープンした、二つのホールを擁する文化施設「小田原三の丸ホール」。そのメインとなる大ホールのホワイエ(2F部分)に、地元銀行の「さがみ信用金庫」さんのご尽力により、アール・ド・ヴィーヴルの幅6mの作品が設置されました。中津川浩章アートディレクターが2020年から何度もアールのメンバーをファシリテーションしてくださり、24人のメンバーたちが描き上げたものです。

テーマは「共感」。障害があるアーティストたちのこれだけ大きい作品が新しいホールに常設されるなんて多分全国的にも珍しい例ではないでしょうか。

このホワイエは無料で開放されますので、ホールがコンサートで使っている時を除いて、どなたでも見ることができます。

またお堀側の道路からも目にすることができます。お近くにお越しの際はぜひ2階のホワイエにご注目ください。



小田原三の丸ホール
神奈川県小田原市本町1丁目7-50

2020東京パラリンピック採火式イベント



神奈川県の依頼を受け、パラアスリートや観客の感動をイメージしてアールのメンバーたちがイラストを描き下ろし、デザイナーさんのご協力をいただきポスターを作成しました。

2021年8月15日夕刻、小田原でのパラリンピック聖火採火式には、ポスターのイラストを描いたアールのメンバー奥津大希さん、塚本愛実さんが小田原市の守屋市長と共に参加し、パラアスリートの皆さんに小田原からエールを送りました。

Share your light! あなたはきっと誰かの光だ!

このスローガンが世界に広がることを願っています。

「まぜこぜアイランドツアー」に出演させていただきました!

多様な人が共に活動する「Get in touch」理事長・女優の東ちづるさんからお声がけいただき、オリパラ文化プログラムとして作成された「まぜこぜアイランドツアー」の映像に出演させていただきました。このような場に参加させていただいたことに心から感謝しています。本当の意味で「多様な人が共に生きる」とはどういうことなのか。素晴らしいパフォーマンスを楽しみながら考える、そんな作品です。ムービーはWebで公開されています。あっという間の1時間46分。ぜひご覧ください。Let's まぜこぜ!

まぜこぜアイランドツアー <https://nippon-fes-one.tokyo2020.org/>



展覧会

自分らしく生きる 11

2020年12月9日(水)~14日(月) 於: ギャラリー NEW 新九郎
企画・展示ディレクション: 中津川浩章(美術家・アートディレクター)
主催: 認定 NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル



当初 2020年6月を予定していた展覧会を12月に延期しての開催。これまでに最多数の出展数となり、壁は作品でいっぱい。たくさんのお客様が足を運んでくださいました。
12月12日は恒例のギャラリートーク。メンバーが交代でマイクを握り作品について語ります。緊張を強いられる毎日の中、しっかり語り、時には笑わせてくれるメンバーたちの姿に励まされるような、印象的なひとときとなりました。



ともに生きる

2020年12月16日(水)~21日(月) 於: ギャラリー NEW 新九郎
企画・展示ディレクション: 中津川浩章(美術家・アートディレクター)
主催: 神奈川県・認定 NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル



2016年に起きた津久井やまゆり園の事件をきっかけに、誰もがその人らしく生きることができ、あらゆる差別がない地域社会を目指して制定された「ともに生きる社会かながわ憲章」。その精神のもと、神奈川県が主催し、県西地域唯一の特別支援学校「小田原養護学校」の生徒さんたちを中心とした作品展を開催しました。壁いっぱいに車椅子に乗ったまま大きな紙に描かれた作品が並ぶ圧巻の展示となりました。
開催期間中開催された、中津川アートディレクターによるトークでは、作品の作者も来場し、アートワークの楽しさ、表現する喜びについて語る、といううれしいサプライズもありました。

ワークショップ

開催実績
(2020年12月~2021年8月)
アート: 15回 / 184人
英語: 13回 / 59人
ヨガ: 4回 / 23人
織り: 13回 / 19人

小さなお子さんから大人まで、障害がある方ならどなたでも参加できるワークショップは、アール設立以来の活動の原点。感染予防に留意しつつ、新アトリエで開催しています。翌月の予定を前月の20日ごろにウェブサイトやFacebookで公開しています。まずは見学からでも大歓迎!ぜひご参加ください。



アートワークショップ: 講師/中津川浩章アートディレクター



JoyJoy English: 講師/ Joe Kelley 先生



JoyJoy English: 講師/ YURIKO先生



織り: 指導/アール・ド・ヴィーヴル

スクランブルダンス・プロジェクト『『ひかりのすあし』へ向かって』 2021年3月28日(日) 於: 小田原市民会館大ホール

コロナ禍によりワークショップも稽古もたびたび中止になり、緊急事態宣言が解除されるかどうか不透明な日々の中、「それでも伝えたいいけないことがある」という強い思いで、講師の松岡大さんはじめ百戦錬磨のスタッフのみなさんが前へと進めてくださり実現できた発表会。障害がある人もない人も一緒に、という説明すらいらぬほどに調和したその舞台は、かけがえのないものになりました。そこには2016年の大野慶人先生との出会いから始まった5年間の積み重ねの賜物がありました。



障がいのある人もない人も一緒にダンスを創る...どんな様子を想像しますか。
障がいのある人が楽しめるように健常者がサポートする、5~6年前(活動初期)の私はそんな考えでした。
でも、実際は真逆と言えるほど“頼もしい”メンバーばかり。この気付きは私の視点を大きく変えてくれました。実はこの気付きこそが、障がいのある人ない人どちらもWin-Winの関係をつくり、Well-beingを上げる...今の私はそう考えています。
アールの皆さんと出会い、一緒に活動できることを嬉しく思っています。

『ひかりのすあし』制作協力: NPO 法人ダンスアーカイヴ構想 櫻村 千佳さん



左より: 櫻村千佳さん/松岡大さん/中津川浩章アートディレクター

